

The Umpire 2013

資料の構成



ジェスチャーとコールの仕方



ジャッジ・コールする上でのキーポイント



四人制審判のメカニックス



審判員としてのマナーチェック



審判のコール用語（少し格好よく英語で）

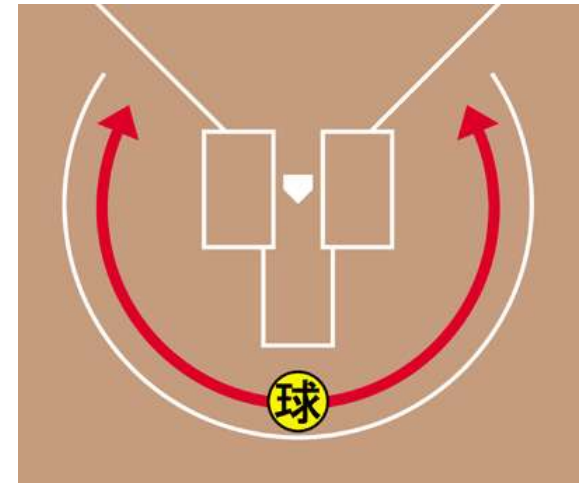


2013年度 野球規則改正の内容

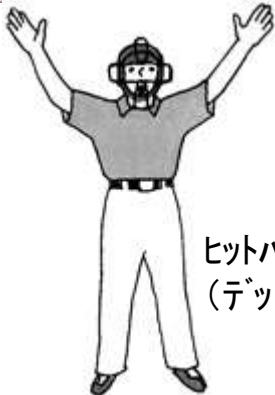
ジェスチャーとコールの仕方



スロット スタンス

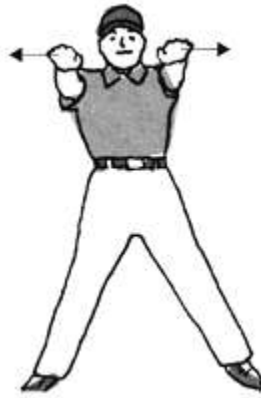


本塁でのクロスプレーの際の行動範囲

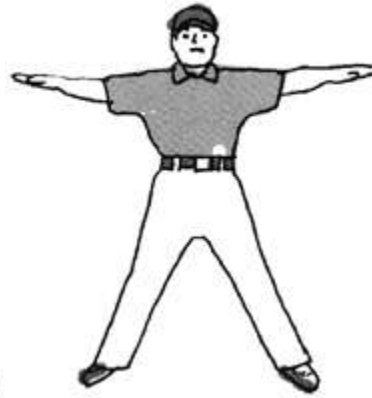




ルック



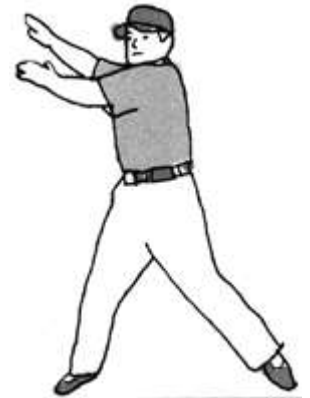
手を前から平行に上げて



セーフ



ベースから足が離れた場合は...



足が離れた方向にオフザバック



インフィールドフライの審判員同士の合図



インフィールドフライのコール



打者にはバッター イズ アウト



ザッツ ア バーク



打球が場外にまずはタイム



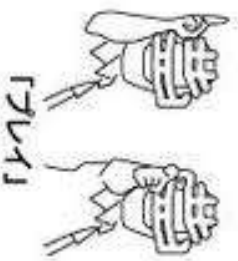
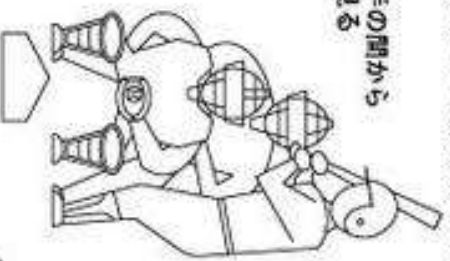
エントイル 2ベース



場外ホームラン

《スロットスタンス》
 アゴの高さを捕手の頭上の高さに合わせて
 ホームベースが全て見える位置に構える

打者と捕手の間から
 ベースを見る



「フレイ」



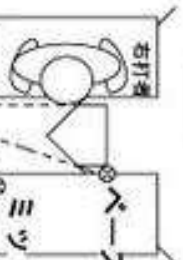
「打者が打撃姿勢をとるまで」



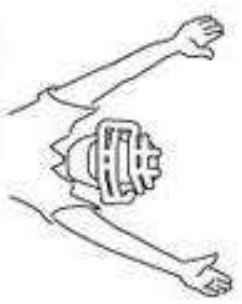
「スリーボール」左手
 「ツーストライク」右手



左手でマスクをはずし
 左手にマスクを持つ



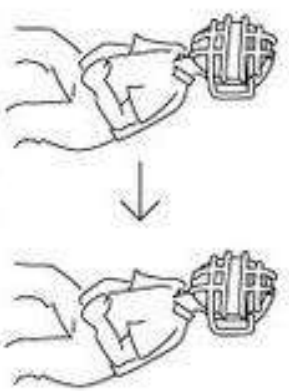
ベース通過時に判断しない
 ミットに収まるまで見る



「タイム」
 「フアールボール」
 「ボールデッド」
 「ヒットバイピッチ(死球)」



捕手の足のライン
 (スロット足)
 右足は左足の足のライン
 足は最低肩幅以上に開く



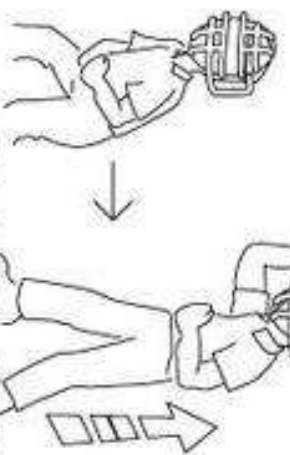
「ボール」 「ザツアボーク」
 構えたまま



「ヒズ アウト」



「セーフ」



「ストライク」 「ストライク ツー」
 「ストライク スリー」
 構えている姿勢を起こして



一塁線の「フエア」 三塁線の「フエア」
 (ノーボイス) (ノーボイス)



ジャッジ・コールする上でのキーポイント

- ① 止まって見る (走りながらジャッジしない)
- ② 角度をとる (90° が理想的)
- ③ ボール、プレイを常に自分の正面 (視野を広く取る)
- ④ 待ち受け (走者に合わせるのではなく、次のプレーに備える)
- ⑤ 大きな声 (常に5万人の観衆が見ていると思え)
- ⑥ 明確な動作 (あやふやな動作はトラブルのもと)
- ⑦ 急がない (ストライク、アウトやキャッチのコール)

四人制審判のメカニクス

走者	二塁審「外」			二塁審「内」	
	レフト線	センター	ライト線	レフト	ライト
なし	●時計回り①	●時計回り②	◆反時計回り③		
一塁	1) 時計回り(クロック・ワイズ) ① 走者なしレフト線エリア、①' 走者一塁レフト・エリア ② 走者なしセンター・エリア 2) 反時計回り(カウンター・クックワイズ) ③ 走者なしライト線エリア、③' 走者一塁ライト・エリア 3) スコアリング・ポジション(得点圏) ④ レフト線エリア、④' レフト・エリア ⑤ センター・エリア ⑥ ライト線エリア、⑥' ライト・エリア			●時計回り①'	◆反時計回り③'
★スコアリング ポジション 【満塁応用】	④	⑤	⑥	④'	⑥'

4人制メカニックの6つのパターンを覚えよう

1) 時計回り(クロック・ワイズ)

- ① 走者なしレフト線エリア、①' 走者一塁レフト・エリア
- ② 走者なしセンター・エリア

2) 反時計回り(カウンター・クロックワイズ)

- ③ 走者なしライト線エリア、③' 走者一塁ライト・エリア

3) スコアリング・ポジション(得点圏)

- ④ レフト線エリア、④' レフト・エリア
- ⑤ センター・エリア
- ⑥ ライト線エリア、⑥' ライト・エリア

審判員としてのマナーチェック

<試合前>

- 1. ズボンはアイロンの折り目があるか？ 靴は磨かれているか？
- 2. 担当試合の1時間前に球場に到着したか？（大きな大会では1時間30分前）
- 3. グランド責任審判に挨拶し、所属と名前を告げたか？
- 4. 担当理事や主催チームの父母等に挨拶をしたか？
- 5. グランドを視察し、整備具合や球場の不備等をチェックしていたか？
- 6. 球場到着後にチーム関係者と談笑などしていなかったか？
- 7. グラウンドルールを監督や関係者に説明していたか？
- 8. 試合前ミーティングで確認事項の打合せを行ったか？

<試合中>

- 1. グランド内では、常に駆け足だったか？
- 2. 腕組みや後ろ手、腰に手を当てたりしていなかったか？
- 3. 常に試合のスピードアップに心がけていたか？
- 4. ジャッジ・コールは明快にして、監督や選手に不信を与えるものでなかったか？
- 5. グランド内で選手と必要以上に会話をしていなかったか？
- 6. 控えの審判員は、ルールブックを携帯し試合を注視していたか？
- 7. 監督の抗議に対して、明確に答えていたか？
- 8. その際、ジェスチャーゲームのように身振り手振りで説明していなかったか？

<試合後>

- 1. 試合終了後、審判員全員で反省ミーティングを行ったか？
- 2. グランド責任審判、理事や主催チームの父母等に挨拶をしてから球場を出たか？

審判の宣告用語

フォースプレイでのアウト	He is Out. He's out.	ヒー イズ アウト(ヒズ アウト)
タッグプレイでのアウト	On the tag. He's out.	オン ザ タッグ ヒズ アウト
通常のセーフ	Safe	セーフ
野手の足がベースから離れた場合、野手がボールをジャGGLEしている場合、また落球した場合	Safe, Off the Bag. Safe, Juggle the Ball, Safe Safe, Drop the Ball, Safe	セーフ オフ ザ バッグ セーフ ジャGGLE ザ ボール セーフ セーフ ドロップ ザ ボール セーフ
野手の「タッグ」を走者がかいくぐってセーフになった場合	Safe. No tag. Safe	セーフ ノータッグ セーフ
ボーク	That's a balk	サツ ア ボーク
走者が「ラインアウト」をした場合	Line out. He's out.	ラインアウト ヒズ アウト
野手がインフライトの打球を捕球した場合	That's a catch. Catch (こちらの方をよく使います)	ザツ ア キャッチ キャッチ
野手が捕球できなかった場合	No catch!	ノー キャッチ
ハーフスイングの確認を塁審に要請する場合	Did he go?	デイドウ ヒー ゴー?
打者がスイングした場合	Yes he went	イエス ヒー ウエントウ
スイングしていなかった場合	No he didn't go.	ノー ヒー デイドウントウ ゴー
反則打球	Time. "Illegal batted the ball. Batter is out."	タイム. イリーガルバットィド ザ ボール. バッター イズ アウト
塁審が打球を追って塁を離れる場合	Going out!	ゴーイング アウト!
走塁妨害	That's obstruction!	ザツ オブストラクション!
守備妨害	Time! That's interference! He's out!(Runner out)	タイム! ザツ インターフェアランス! ヒズ アウト(ランナー アウト)
四球	Walk, Base on ball. (通常はコールしません)	ベース オン ボール
死球	Hit by pitch!	ヒット バイ ピッチ
インフィールドフライ	Infield fly. Batter is out.	インフィールドフライ バッター イズ アウト
インフィールドフライがフェア・ファールの判定を必要とするとき	Infield fly. If fair.	インフィールドフライ イフ フェア
走者が野手の触球を避けるために塁間を結ぶ直線から3フィート以上離れて走った場合	Out of the baseline. He's out.	アウト オブ ザ ベースライン ヒズ アウト
キャッチャーの打撃妨害	That's catcher interference.	ザツ キャッチャー インターフェアランス (頭上でバッテン)
3塁走者のタッグアップ後、守備側からアピールがあった場合 アウトの場合	Legal tag Ups. "Safe." Illegal tag Ups. "3 rd runner is out."	リーガル タッグ アップス "セーフ" イリーガル タッグ アップス "3 rd ランナー イズ アウト"

担当審判	判定場面	判定 (ジャッジ)	英文	審判の発声 (コール)	英文または発声の意味	審判の動作 (ジェスチャー)
共通	中断	タイム	time	タイム	プレーを一時中断する	両腕をYの字に上げる
球審	開始前	あと1球	One more pitch	ワンモアピッチ	投球練習あと1球	右手人差し指1本を上げる
	開始再開	プレイボール	play	プレイ	プレーを始める再開する	ピッチャーを指差す
	投球	ストライク	strike	ストライク	ストライクゾーンを通過したかスイングした	右腕を上げる
		ボール	ball	ボール	ストライクゾーンを通過しなかった	判定の体勢のまま
		四球	base on balls	ベースオンボールズ	(Four ball とは言わない)	動作なし (一塁に指差しはしない)
		死球	Hit by pitch	ヒットバイピッチ	投球が当たった (Dead ball とは言わない)	タイムの直後、死球を受けた場所を示し打者を1塁へ促す
	ハーフスイング	振りしましたか?	Did he go?	ディドゥヒーゴ	振りしましたか?	右打者の場合は1塁審、左打者は3塁審へ左手を伸べて訪ねる
振った		Yes, he went	イエス、ヒーウエント スイング	振った	アウト同様に右腕を上げる	
塁審	振っていない	No, he didn't go. No swing	ノー、ヒーディドゥントウゴ ノースイング	振っていない	セーフ同様に両腕を水平に開く	
	送球	アウト	He is out He's out	ヒーイズアウト ヒズアウト	アウト	右腕を上げる
セーフ		safe	セーフ		両腕を水平に開く	
離塁		Off the bag	オフザバッグ	野手の足がベースから離れた	セーフに続き、野手が離れた方向へ両腕を払う	
共通	打球	フェア	fair	発声なし (ノーボイス)		片腕を水平に上げてフェアゾーンを示す
		ファウル	Foul ball	ファウルボール		両手をYの字に上げる
		捕球	catch	キャッチ	野手が打球をノーバウンドで捕った	アウトと同様に右腕を上げる
	落球又はフェア	No catch	ノーキャッチ	野手が打球をノーバウンドで捕れなかった	セーフと同様に両腕を水平に開く	
	無死、一死で一・二塁又は満塁で内野フライが上がった	Infield fly	インフィールドフライ		上空を指差しコールした後、引き続きアウトと同様に右腕を上げバッターアウトとコール	
	同上の状態で打球がライン際に上がった	Infield fly if fair	インフィールドフライ イフフェア	もしフェアだったらインフィールドフライとなる	インフィールドフライと同様に行うがフェアが確定してから、バッターアウトのジェスチャー、コールを行う	
	塁	エンタイトル2ベース	two base	ツーベース	打球がバウンドしてからフェンスを越えた	タイムをかけた後、指で2を示す

審		ホームラン	Homerun	発声なし		右腕を頭上で大きく回す
球 審	妨害	打者走者の 守備妨害	That's interference	インターフェア	打者走者が野手を妨害 した	タイムをかけ妨害した打 者を指差しコール
		走者の守備 妨害	That's interference	インターフェア	攻撃側が野手を妨害し た	タイムをかけ妨害した走 者を指差しコール
共 通	妨害	走塁妨害 (A項)	Obstruction	オブストラクシ ョン	ボールを持たない野手 と走者が、直接プレーが 行われている場所で接 触した	タイムをかけ妨害した野 手を指差しコール
		走塁妨害 (B項)	Obstruction	オブストラクシ ョン	ボールを持たない野手 と走者が、直接プレーが 行われていない場所で 接触した	走塁を妨害した野手を指 差しコールし、プレーを 見守り、進塁を判断する。
	反則	ボーク	That's a balk	ザッツボーク	それはボークだ	ピッチャーを指さす
	安全 進塁 権	進塁	You, ○○ base	ユ-○○ベース	あなたは○○ベースに 行きなさい	ボークや走塁妨害の際、 プレーが落ち着き確定し たらランナーを進塁先へ 促す

I : アウトのコール

- 「He is out.」
(1) タグによるアウト 「On the tag. He is out.」
(2) フライによるアウト 「That's a catch.」 「Catch (こちらをよく使う)」
(3) ラインアウトによる宣告 「Line Out」

II : セーフのコール

- (1) 野手の足がベースか離れた 「Safe. Off the bag.」
(2) 野手がボールを落とした 「Safe. Drop the ball.」
(3) 野手が“お手玉”をした時 「Safe. Juggle (or Babble) the ball.」
(4) 走者がタグをかいくぐった時 「Safe. No tag safe.」

III : ハーフスイングのコール

- (1) 球審がノースイングを宣告する時 「Ball. No he didn't go.」
(2) 球審がハーフスイングをリクエストした時 「Did he go?」
(3) 打者がスイングしていたら 「Yes, he did.」 or 「Yes, he went.」
(4) 打者がノースイングなら 「No, he didn't go.」
(5) 球審が自らスイングを宣告する時 「Yes, he did.」 or 「Yes, he went.」

IV : ボークのコール

「That's a Balk.」

V : 妨害 (打撃、守備、審判) のコール

「That's a Interference.」

VI : 走塁妨害のコール

「That's a Obstruction.」

VII : 成り行き (出会い頭のプレー) のコール

「That's nothing.」

VIII : インフィールドフライのコール

「Infield fly. Batter is out.」

- (1) フライがフェア・ファウルの判定を必要な時 「Infield fly, if fair. . . .」
(2) インフィールドフライを落球した時 「He is out.」 落球しても取れなくても打者はアウトです。

IX : タイム・プレーのコール (球審)

- (1) 第三アウトより走者の本塁触塁が早かった時 「That's run score.」
(2) 第三アウトより走者の本塁触塁が遅かった時 「No run score.」

X : 送球がボール・デッドエリアに入った時のコール

「Time. You...Base.」

例：走者一塁で次塁へ進める時

「Time. You, second base.」

XI : 故意落球のコール

「That's Intentional drop. He is out.」

XII : 追い越シアウトのコール

「Passing the runner. He is out.」

XIII : 捕球後、次動作に入って落球した時のコール

「He is out.」

XIV : 打球を追う場合の掛け声

「I'm going out.」 or 「Going out.」

2013 年度 野球規則改正の内容

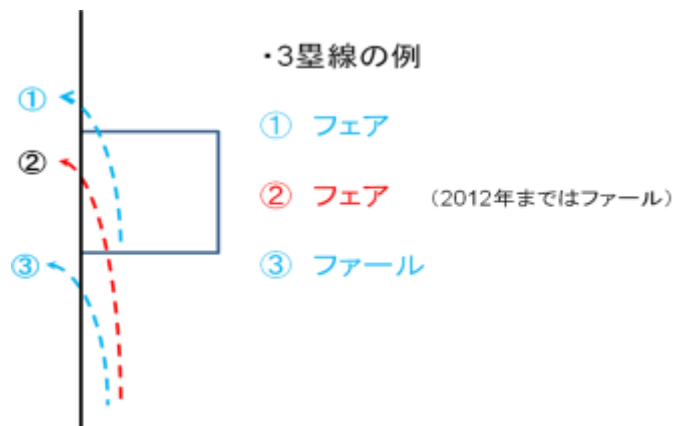
- (1) 巻頭「フェアボール」第2図の説明を次のように改め（下線部を改正）、図を変更する。

バウンドしながら内野から外野へ超えて行く場合には、一塁または三塁を基準として判断すべきであって、一塁または三塁を過ぎるときに、フェア地域内かまたはその上方空間にあった場合は、その後ファウル地域に出てもフェアボールである。

- (2) 巻頭「ファウルボール」第8図の説明を次のように改め（下線部を改正）、図を変更する。

バウンドしながら内野から外野へ超えて行く場合には、一塁または三塁を基準として判断すべきであって、一塁または三塁を過ぎるときに、ファウル地域内かまたはその上方空間にあった場合は、ファウルボールである。

== (解説) == 1 塁 3 塁のゴロの打球で基準が「ベース全体 (点から面に)」となる。ゴロの打球のフェア/ファウルの判定は、「ベース全体」が基準となる。例えば、ベース上を通過した場合はフェアとなる。(下図の②が該当) (1 塁 3 塁の塁審にとっては、判定しやすくなり助かります)



- (3) 1.10(b) を次のように改める。（下線部を改正）

バットの先端をえぐるときには、深さ 1 1/4 インチ (3.2 センチ) 以内、……

- (4) 1.17 【注3】④の「(アマチュア野球では7平方センチ以下でなければならない)」を削除する。

(5) 2.32【注1】後段を次のように改める。(下線部を改正)

また、打者が打ったり、バントしたボールが反転して、まだバッターボックス内にいる打者の身体およびその所持するバットに触れたときも、打球がバットまたは身体と接触した位置に関係なく、ファウルボールである。

== (解説) == 自打球などの判定の変更であり、打者に自打球などが当たった場合、バッターボックス内であれば「ファウル」に、片足のみでも打席から出ていたら「アウト」となる。

(改正前は「ファウル」であった。)

参考：片足が出ていた場合も、フェアであろうがファウルであろうが「アウト」になります。先日、プロ野球でも読売杯でも打者がバントした際に片足が出ていたため、「アウト」が宣告されたケースがあった。

(6) 3.05(d) を追加する。

(d) すでに試合に出場している投手がインニングの初めにファウルラインを越えてしまえば、その投手は、第1打者がアウトになるかあるいは一塁に達するまで、投球する義務がある。ただし、その打者に代打者が出た場合、またはその投手が負傷または病気のために、投球が不可能になったと球審が認めた場合を除く。

(7) 3.15【原注】の「例」以下を7.11【注2】とし、7.11【注】を【注1】にする。

(8) 7.08(a) の「ベースライン」を「ベースパス」に改める。

== (解説) == 聞きなれない用語ですが、「走路」という意味です。

(9) 8.01(a)【注1】を次のように改め、同(b)【注】を削除する。また、巻頭jの「投球姿勢」を変更する。

アマチュア野球では、投手の軸足および自由な足に関し、次のとおりとする。

(1) 投手は、打者に面して立ち、その軸足は投手板に触れて置き、他の足の置き場所には制限がない。ただし、他の足を投手板から離して置くときは、足全体を投手板の前縁の延長線より前に置くことはできない。

(2) 投手が(1)のように足を置いてボールを両手で身体の前方に保持すれば、ワインドアップポジションをとったものとみなされる。

== (解説) == 軸足は投手板に触れていれば、はみ出してもOK。

アマチュアでは、投手は軸足を「投手板の側方にはみださない」こととなっていたが、2008年にプロと同様「軸足が投手板に触れていれば、はみ出していても可」に改正された。

(10) 10.10(a) の「ただし、そのプレイでアウトが成立していなければデフレクトした野手に失策が記録されたであろうと記録員が判断した場合は、この限りではない。」を削除する。

== (解説) == 「デフレクト」とは、野手がボールに触れて球速を弱めたり、ボールの方向を変える、という意味です。

以上